## 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の	<b>有無</b> 有 ▼		電話 042 (	769 ) 8284
担当部課名	学校教育部    ▼	指導	課  ▼	企画	研修    班 ▼
事務事業名	フロンティアスクール抽	推進事業(小学校費・指導	<b>算課分)</b>	事業コード	14120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第	4	章	人間性豊かな子どもを育成します	事業	開始年度
基本施策名	第	1	節	ゆとりある学校教育の創造	~ 63	- 年度
施策名	第	2	施策	小・中学校教育の充実	0.5	牛皮

2 実施根拠及び関連法令等

٦	井米亞	Ħ
ጘ	事羊燃	*

J 尹未似女	
(1)事業の目的	(2)対象(誰、何)
教育機器の設備の整備を行い、その活用により、学習の値	
	<b>対象</b> 52校 <b>数</b>
(3)平成13年度事業の内容	(4)総合計画・実施計画における概要
平成9年度~12年度の機器更新校40校のコンピュータにかかる経費。 平成13年度機器更新の実施。(12校)	教育内容の充実 情報通信ネットワークを活用した情報教育の推進 フロンティアスクール推進事業の充実
	(5)個別計画の概要
	計画名
	計画年次 年度~ 年度

4 評価指標

指標名	コンピュータの更新率	
指標式	コンピュータ更新校数 ÷ 小学校数	
指標設定の意図		

5 目標と実績 (金額単位:千円)

,	コ信し大浪		_					・「立領半位・十门」
	/	平成11年度	平成12年度	平	成13年度(訂	平価文	対象年度 )	平成14年度
		実績	実績		実績		目 標	目標
	指標	42	75	а	100	b	100	100
	指標			C		d		
	指標			е		f		
	決算 (予算)額	115,705	254,460		356,869		356,329	395,431
事	人員・時間数	2400 h	2400 h		2400 h		2400 h	2400 h
業	人 件 費	10,032	10,032		10,032		10,032	10,032
素費	その他経費							
	合 計	125,737	264,492		366,901		366,361	405,463
	特定財源							

6 個別評	<del>"</del> 価							
	ē・・・目標をどれだけ達	成したか	١					
評価	A:達成している	( 1	00%)					
A <b>~</b>	B:一部達成していな	l\(100%>	80%)	= ,	、 の <sup>3</sup>	平均	值 =	100.0%
	C:達成していない	(80%>	)	•				
а	100.0	400.00	C		400			e 400
b	100.0 × 100=	100.0%	d		—× 100:	=		x 100=
	PC機器の更新は、平成	,13年度で	で全小学校:	が完了した。次	7回更新4	年度に	は、平原	成17年度より実施する。
理由:								
		112						
	生・・・時代変化に適応し				·	+		·
評価	A:適応している	理由:	時代に即	した情報メデ	イア環境	の整	備は	、必要不可欠である。
A	B:一部適応していない							
( a ) (a ) <del>da</del> (da	C:適応していない	m L Less V						
	生・効率性・・・費用対効			5 th 7 A M	T 1414 00 1-		17 -	7 の計学 甘並 (古芸) リナ
評価	A:妥当である	埋田:						その技術革新は著しいものがあり、毎年
B ▼	B:一部妥当でない C:妥当でない							め、現行の8年という長期間では、最新
(1) 車器(	C . 安ヨでない   D代替性・・・県、民間と	の処割		活用できなく				
(4)事業り <b>評価</b>								
	A:代替の可能性ない B:代替の可能性低い	理田:	巾教育安	貝会で美施	9 5 6 6 7	い旭目	∃じの	୦ ଚ୍ଚ
A -	C:代替の可能性高い							
(5) 市民港	C:  での可能性同い       	<b>苯모</b> (土)	にわてい	z か				
評価	A:満足できる				丁松吗!	- 71	17 2	その技術革新は著しいものがあり、最新
<b>a</b> <u>rr 1</u>      B   ▼	B:一部満足できない	理田:						ての技術車がは者しいものがあり、最初 0再検討が必要である。
□ □	C:満足できない		の政権で	古田りるため	ソレロ・ス	ヒホハー	⊢反∪	7円快的が必安 (のる。
(6)有効性	生・・・当該事業は上位の	の施策を	宝現する	トで有効か				
	A:有効である				教育员	<b>\</b>	かっ	が図られる。
A 🔻	B:一部有効である	<b>ж</b> щ.	IH TIX TX III	<b>の</b> 加速にあり	\ <b>7</b> \ H	3 🖂 🗸	<i></i>	: D 四 5 1 0 0 0
/\   \	C:有効でない							
	•				成果向	ı Fa	)余地	1
評価ハ	ハノステヤード	成度 Ⅰ			75001	<u>,</u>		,  説明:
	A				굣	あ		ネットワークやインターネット環境の整
	<b>/</b> B.	\			14	0,5	•	備等を含めたフロンティアスクール推進
	有効性		必要性			な	L١	事業の見直し
	\ \ C.	\ \ \	//		_			3.514.15.58.22.0
		X						
コスト改善余地								
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		/					説明:
	C t							
	市民満足度 AB	/ /	`経済性'	<b>勿率性</b>	Į.			することを検討する。
	_					な	しり	
	Α.	¥						
	事業の代替性							
7 総合評(	<u></u> 伍		_		_			
H H I			PC道λl	ナ 全国的に	计比較的	7.早期	旧に差	手したが 現在ではほぼ全国平均値の

/ 総口計1	<u>—</u>	_	PC導入は、全国的には比較的早期に着手したが、現在ではほぼ全国平均値の
	AA ▼	他自治	導入台数である。
評価		体の類	
		似事業	
4	後の進め方	との比 較	
		<b></b>  ™	
	継続		コスト面の負担が課題だが、情報活用能力を身につけることは、必要不可欠なこ
П	見直し		とであり今後も積極的に整備する必要性がある。
	廃止	説明	
П			
	<i>7</i> 6 J		

8二次評価における変更点